

「山梨で生きる」ビジョンを

山梨大学名誉教授・前山梨大学副学長 伊藤 洋

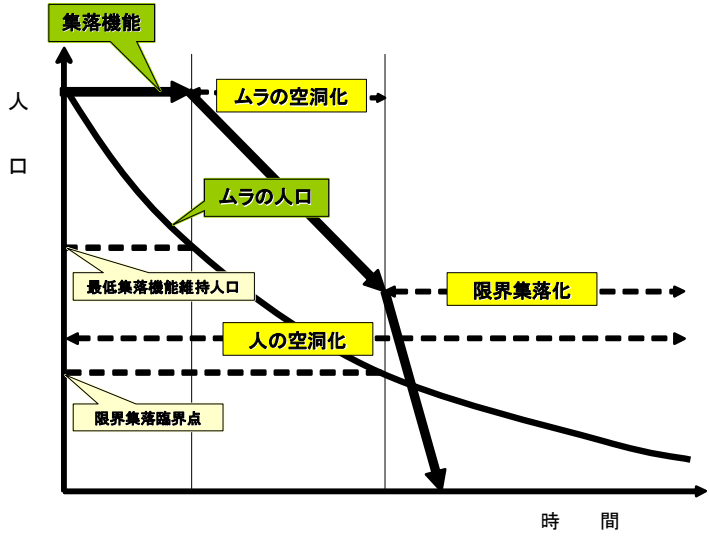
き 図は、長い間存続して

をこなすことで村落機能を維持されていいた。

から引用、筆者加筆。)

人 1960年代、増田勇
機 内閣の所得倍増策を
を 臨海部の重工業材を
と 喧伝された。中卒歴
と 集団就職に、学歴を
部 へ誘導し、次いで市
主 義卒を雇い、大挙進
で 高卒を雇い、大挙進
誘 発し、た。この結果、
村 部にた。この結果、
者 がつは。18歳以上の
て い。つは。18歳以上の
中 山間地を。爾来40余年、
入 る。こといとなが、減に。少期に
若 者が居なくなつた。少期に

隠 居気分に、で居らし、れて、る義務
施 設の簡易水道等々、T祭、親達は
催 の守田水元の気保、道、祭、親達は
の 田水元の気保、道、祭、親達は
棚 まだ元の気保、道、祭、親達は
は だ元の気保、道、祭、親達は
い 彼らので、母や祖母、母
ぐ 。に、下す、わ、母
ら 。に、下す、わ、母
若 。に、下す、わ、母
居 。に、下す、わ、母



棚 田や山地の畑の耕作放
が 消滅し、のう耕放
る よくなると、のう耕放
な 復たなど、のう耕放
修 さや、は、のう耕放
愛 ちや、は、のう耕放
う 不、要、急、のう耕放
こ の時、な、と、集落を
低 集落の機能維持人口
の 集落の機能維持人口
と 集落の機能維持人口
の 集落の機能維持人口
の 集落の機能維持人口
の 集落の機能維持人口
の 集落の機能維持人口
の 集落の機能維持人口

親山しは機取っ地を富れにへがも書落るは点しと市見帯老はいなが集口「ま成円和た「0放を棄て棄
達梨、`卒関れるき方の除士がに見の着ない説「。完「しと部かへ々高くが落「最で1あ5。先年農棄忠山く、
はにそ業にる。ののく河証えの道実い。説明とこの全に図の着にねと二齡がら機「最低落、
最後戻はこ業進。と山岳東湖に、の道にに。明を山梨はたのは他教科界集、
にっ家もそ学外の傾帯全上野南部全、からでである。よう。そ「限界集落崩壊の教
県て庭そこ子高向には、峡など。あり。よう。そ「限界集落崩壊の教
外こな持に等が見は、峡など。あり。よう。そ「限界集落崩壊の教
へいち就供教育ては、峡など。あり。よう。そ「限界集落崩壊の教
呼び。`職達育ては、峡など。あり。よう。そ「限界集落崩壊の教

く疎がテる業山い「ち「蛇
理も県、`スト学人梨梨。学力
解、に人口減少率最大の秋田
で、その無意味さがよ
けるの意だかから。よ
る「学力」なら全国学力
業人を育てること。専門
山梨で生きていくと。専
い。一流のプロジェクト。し
「学力」競争のことでは
ちの尻を叩いて励ます
「山梨教育」とは、子供
蛇足だが、ここで言う
めることを初等教育から始
教育を育む独自の「山梨
ヨンを育む独自の「山梨
に、「山梨で生きる」ビジ
は、国の教育政策とは別
方策は無い。そのため
外に権時代を生きた
て実現する。このため
速でなく「30年」か
そ、う、確かに生きられ
か、つ、確かに生きられ
いと親も願いたい。思
い、この地で生涯を
さ、れた山梨を、配属
聞くと。「嫌々ながら」
く、この多踏山梨を、
員、この多踏山梨を、
転、この多踏山梨を、
で、この多踏山梨を、
無、この多踏山梨を、
国、この多踏山梨を、
こ、この多踏山梨を、
が、この多踏山梨を、
を、この多踏山梨を、
済、この多踏山梨を、
法、この多踏山梨を、
い、この多踏山梨を、
社、この多踏山梨を、
寄、この多踏山梨を、
会、この多踏山梨を、
減、この多踏山梨を、
が、この多踏山梨を、
全、この多踏山梨を、
域、この多踏山梨を、
で、この多踏山梨を、
待、この多踏山梨を、
人、この多踏山梨を、
口、この多踏山梨を、
の、この多踏山梨を、